

## 2-1 機械ボーリング

### 2-1-1 機械ボーリング設計長

#### (1) 補正係数について

せん孔深度 50m以下、せん孔方向鉛直下方を標準とし、せん孔深度等標準以外の場合は各補正率を標準の市場単価に乗じて求めるものとする。

### 2-1-2 オーガボーリング

(ポストホール型)・粘性土、孔径 100 mm (10m当り)

名称	規格	単位	数量	備考
地質調査技師		人	0.33	
主任地質調査員		人	1.00	
地質調査員		人	1.00	
普通作業員		人	1.00	
資料箱		箱	1.00	
刃先		ヶ	0.2	
機械損料	ポストホール型	日	1.0	
雑品		式	1	

備考 1. 1日当り掘進延長は標準 10mとする。

2. 深度 5 mまでの歩掛とし、5 m以上については、全長について本表歩掛(資料箱を除く)を 20%割増する。

3. 砂質土については、本表で算定した単価を 30%割増する。

### 2-1-3 給水費

#### (1) 配管費

配管費 (傾斜値) (100m当り)

名称	規格	単位	員数	摘要
パイプホース損料	20 mm~32 mm	m	100	損率 1ヶ月未満 0.1 1~3ヶ月未満 0.2
普通作業員		人	0.4	
雑品		式	1	

備考 1. 本表の労務歩掛については、現場条件によって次表により補正する。

2. パイプホースの規格については、揚程 5 mまでは口径 20m/m、20mまでは 25/m、40mまでは 32m/mのウォーターホースエアーホースを標準とする。

3. ボーリング深度が 100mを超える場合又は送水距離 500m以上の場合は別途積算する。